

視点3

「多様な主体の活躍」

～多様な主体の活躍による、よりよいケアの実現～



←かわさき暮らしサポーター養成研修

今後、「ケアを必要とする人」の急激な増加が見込まれる中、安定・継続したケアの提供のため、要支援者等を対象とした掃除や洗濯等の家事援助に従事することができる「かわさき暮らしサポーター」養成研修を通じて市内介護サービス事業所の人材供給を図っています。

↓総合防災訓練

首都直下地震等の地震災害、近年の異常気象に伴い多発する豪雨災害等に対し、自助・互助・共助・公助の理念に基づき、市民、企業、市及び防災関係機関等が迅速な初動活動と災害応急対策を確立するため、実践的な防災訓練を実施しています。



視点4

「一体的なケアの提供」

～多職種が連携した一体的なケアの提供による、自立した生活と尊厳の保持の実現～



↑川崎市在宅療養推進協議会

医師会、病院協会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、介護支援専門員連絡会、医療ソーシャルワーカー協会、理学療法士会、地域包括支援センターなど、関係団体の代表者が定期的に集まり、多職種連携の強化や在宅療養者に対する一体的な支援体制の構築など、医療と介護の円滑な連携に向けた取組を協議しています。

↓ケアマネジメントツールシリーズ

川崎市介護支援専門員連絡会・川崎市健康福祉局・川崎市社会福祉協議会・地域包括支援センター等の協働により作成したツールで、一体的なケアの中心となるケアマネジメントについて、それぞれのテーマに沿ってポイントをまとめています。



視点5

「地域マネジメント」

～地域全体における目標の共有と 地域包括ケアをマネジメントするための仕組みの構築～



↑川崎市地域包括ケアシステム連絡協議会

地域包括ケアシステム構築の推進を図るため、自由に検討・協議するための場を設置し、川崎市における多様な主体（町内会・自治会、保健医療福祉の団体、企業、学識者など）が「顔の見える関係」を構築し、主体的な連携の仕組みづくりを進めています。各区役所においても、区ネットワーク会議を開催、様々な主体の方が参加して検討を進めています。

↓川崎市地域包括ケアシステム推進本部会議

市長をはじめ、副市長、全局区長が集まり、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組等について検討を行っています。

各区役所でも、区長をはじめ、部長級職員にて構成された区推進本部会議が開催され、各区に応じた地域包括ケアシステムの構築について検討が行われています。

